

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ああるレインボーDuo谷塚駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	午前グループで身辺自立や集団生活に慣れて出来ることを増やし、地域の幼稚園などに通っている児童は午後のグループや個別で、出来ること・好きなことを増やし自信をもって集団で過ごせるように支援を行っている。	午前グループでは、初めて母子分離を経験する児童は親子で参加して慣れてから母子分離での利用ができる。 午後は、学年ごとに分けたグループと個別で支援を行い、主となる集団生活で自信をもって過ごせるように支援している。	午後の児発グループは地域に少ないので、幼稚園後に利用できる枠を充実させていく。 近隣の幼稚園との繋がりを強化していく。
2	併用している保育園・幼稚園と連携を図りながら支援を行っている。	保育園や幼稚園との併用している児童は、園の先生とも情報共有を行いながら集団生活に向けて支援を行っている。	併用先に合わせて、園への訪問で様子の確認や相談支援を交えて担当者会議の実施や、電話での情報共有などやり方を柔軟に連携を図っていく。 園との併用を始める時も、事前の情報共有でスムーズに園に通えるように取り組んでいく。
3	小集団で活動し、それぞれに寄り添った支援を行っている。	身の回りの自立に向けた支援も、それぞれの出来ることに寄り添い、一緒に取り組むところから少しずつ自分で出来るを増やしていく。手先や運動面も、それぞれに合った内容を用意して「できた」をみんなが感じられるように支援している。	小集団だからこそ出来る個別での対応で1人1人がスマールステップで「できた」を増やし自信をもち、自分でやってみる！の気持ちに繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がないので、クールダウンするのに隔離が難しい	活動スペース以外には、オモチャや本などの収納になっているので、別室への移動はクールダウンに向いていないので、活動スペースの中でみんなと離れて落ち着くように取り組んでいる。	改装して個室の用意は難しいので、少し離れたりマットなどで別スペースを用意するなど工夫していく。
2	保護者会などの開催ができていない	毎回の活動報告や毎月のお便りをご利用の様子を伝えたり、午前グループでは希望があった時には見学も随時行っているが、保護者会として開催をしていない。	土曜日事業所の営業があり、土曜日に開催は難しい。どのような開催方法が多くの方に参加してもらえるか、保護者様にもご意見を聞くなど検討していく。
3	活動スペースにある手洗い場が、お湯が出ない	お湯も出るように工事を検討したが大掛かりな工事が必要だった。	顔を拭くなど、冷たいと不快感が強い場合は温かい濡れタオルを用意するなどの対応をしていく。